

教 日本史概論 I

Introduction to Japanese History I

ITO Jun
伊藤 循

科目ナンバリング：DEC-2-346-01/DIB-2-431-01/DIS-1-351-01/DLP-2-349-01

■授業の目的及び到達目標

教員をめざす学生を対象とし、高等学校地歴科・中学校社会科の免許取得に必要な単位の修得を目的とする。高校時代に習った日本史の背景にある史料・学説がもつ重要性を理解するとともに、日本史に対する知識・理解・専門性を深め、教員に必要な学問的資質を習得することを到達目標とする

■授業計画

- 1 ガイダンス。原始社会。
講義の進め方、内容などのガイダンス。旧石器・縄文・弥生時代の特徴をつかむ。
- 2 古代国家の形成
古墳時代・飛鳥時代を取り上げ、日本における国家形成の歴史を考える。
- 3 律令国家の成立と展開
律令国家の成立の意義と奈良時代の政治史について考える。
- 4 平安期の国家
律令制が変質する平安期の国家と政治、社会の様相について考える
- 5 荘園制と武士の発生
中世社会の指標となる武士・荘園の発生について考える。
- 6 院政の成立と平氏政権
院政の成立とその構造、そこから生まれる平氏政権について考える。
- 7 内乱の展開と鎌倉幕府の成立
治承・寿永の内乱の過程をたどりながら鎌倉幕府の成立について考える。
- 8 鎌倉幕府の展開
執権政治の成立、展開、変容と蒙古襲来の影響など鎌倉時代の流れを考える。
- 9 南北朝の内乱と室町幕府
南北朝の内乱から室町幕府の成立などこの時代の政治、社会の動きを考える。
- 10 室町幕府の展開と外交
室町幕府が全国政権になっていく過程と外交について考える。
- 11 応仁の乱と一揆の時代
室町幕府を衰退に導く応仁の乱と当時の一揆について考える。
- 12 戦国時代と蝦夷地・琉球
戦国大名の特徴を考える。中世の北海道・沖縄と日本との関係をまとめる。
- 13 学期試験、前期のまとめ
学期試験を行う。また、フィードバックとして古代・中世の解説を行い、理解を深める。

■授業の方法

受講者の意見などを聞きながら講義を進める。毎回レジュメを配布するが、授業終了時にはリアクションペーパーの記入や小問の解答、提出を求め、次の授業でフィードバックとして、まとめと前回の授業の小問の解説を行う。

■予習・復習

授業に合わせて高校日本史の教科書や提示した参考書で予習し、理解を深めておく。復習は授業レジュメや授業中に照会した文献などを読み、授業中の小問などを中心に重要な内容や要点をまとめておく。

■成績評価の方法（成績の評定方法、授業態度、レポート等の扱い）

試験 80%、リアクションペーパーなど授業への参加度 10%、毎回の小問 10%。試験後フィードバックとして解説を行う。

■教科書・参考書

(参考書) 高校時代使用した日本史の教科書

佐々木潤之介ほか編『概論日本歴史』吉川弘文館、2000年

■関連する科目

社会科地歴科教育法、公民科教育法をはじめ幅広く世界史、地理、政治、経済など社会科に関係する科目。

■当該科目の実務経験（該当する場合のみ記載）

担当教員は、千葉県私立高等学校や東京都立高等学校に36年間勤務し、日本史に関する研究実績を積んできており、それを本科目の指導に活かしていく。